



(c) Yujiro Ichioka, TAM inc.



(c) Yujiro Ichioka, TAM inc.

## 2023年9月16日に、START Box ササハタハツにてオープンアトリエが開催されました。

会場：START Box ササハタハツ

実施日：2023年9月16日（土）15:00～17:30

（木工ワークショップ 15:00～ / 16:00～

参加者：START Box ササハタハツ利用アーティスト6名

来場者：135名（延べ人数）

START Box ササハタハツでは、9月16日（土）にオープンアトリエを開催しました。当日は前日までの荒天から一転、秋の気持ち良い天気にも恵まれました。

6名のアーティストのアトリエでは、今回の利用期間中に制作した作品等が並び、絵画や彫刻、インスタレーション等、多様な作品を鑑賞することが可能となりました。

来場者には、アート関係者はもちろん、通りすがりに寄られた地域住民の方も多く、START Box ササハタハツが地域に広がる機会にもなりました。



来場者と作品について話し込む、中山琳太郎氏

### <木工ワークショップ>



オープンアトリエに併せて、本との出会いの可能性を提案する山本未知（thirdkindbooks）氏による、木工ワークショップ「本を並べる箱を組み立てよう！」が行われました。

参加枠はいずれも満席となり、大人から子どもまで各々が思い描く箱を熱心に作成していました。

# <オープンアトリエの様子>

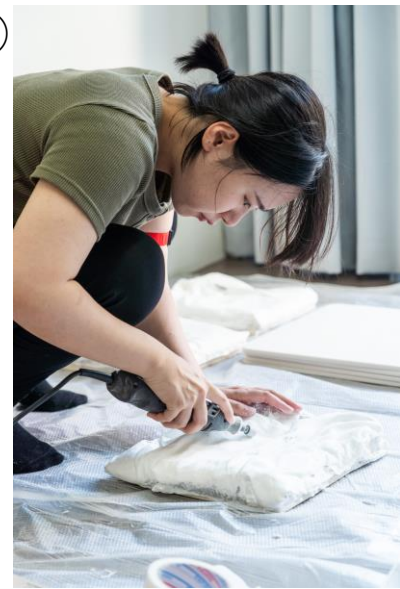


①



②

(c) Yujiro Ichioka, TAM inc.



③

(c) Yujiro Ichioka, TAM inc.



④

⑤



(c) Yujiro Ichioka, TAM inc.



⑥



⑦

① 作品について説明をする、天草ミオ氏。

② アトリエ内には作品が多数、展示されていました。

③ **SAKAMOTO ENTERTAINMENT**氏による、実際の作品制作風景も観ることが出来ました。

④ 西村祐美氏のアトリエにて、作品をじっくりと鑑賞する来場者の姿が印象的でした。

⑤ 西村祐美氏の作品。

⑥ 澁木智宏氏のアトリエにて、自身の制作した作品を被って写真撮影する一コマ。

⑦ 来場者の中には子どもの姿もあり、興味深く作品を鑑賞していました。

# オープンアトリエ開催！



木工ワークショップ  
も開催！  
(詳細は裏面)

[開催情報]  
令和5年 **9月16日(土)**  
**15:00~17:30**

START Box ササハタハツでは、絵画、彫刻、テキスタイルなど様々なジャンルのアーティストが活動しています。アトリエを公開しますので、この機会にぜひお立ち寄りください。

**入場無料**  
(予約不要・直接会場にお越しください)

START Box ササハタハツ  
水道道路沿いにある笹塚・幡ヶ谷の都営住宅の空き店舗（6区画）をアトリエ等に整備し、若手アーティストに提供することで継続的な創作活動を支援する事業です。

【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
【問合せ先】公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課  
TEL : 03-6256-8853(平日10:00~18:00) E-mail : rekibun\_promo@rekibun.or.jp

公式ウェブサイト X(旧Twitter)



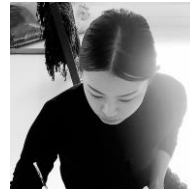
# オープンアトリエ 参加アーティスト

## 笹塚

### 西村 祐美 (にしむら ゆみ)

1984年福岡県生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科卒業。Web制作会社、映像制作会社勤務後、アナログへの回帰を試みる中で染織を独学。

【受賞歴】 SICF22 保坂健二朗賞(2021)、Arte Laguna Prize ファイナリスト(2021)、Independent Tokyo 武石太郎賞・石橋高基賞(2019)など



「NR60\_01」2023年  
素材：綿、麻、アクリル、パネル、600 x 600 x 55mm

### SAKAMOTO ENTERTAINMENT

1997年熊本県生まれ。多摩美術大学統合デザイン学科卒業。素材を研究し、新たな視点からものを見つめ直しデザインやアートに落とし込む。

【受賞歴】 muni art award 2022ファイナリスト。アートオリンピック2022入選。長亭GALLERY展2022入選。SHIBUYA AWARDS 2021入選。第3回KYOBASHI ART WALL art competition優秀賞



「RUBBER BANDS COLLECTION」2019年  
素材：輪ゴム

### 山本 未知 (thirdkindbooks)

日本大学生産工学部 創生デザイン学科 スペースデザイン専攻 卒業。現在thirdkindbooks という名前で活動中。本との出会いや関わる環境に新たな可能性を提案している。その他アートプロジェクトの企画・展示構成や設営、アーカイブ映像制作など。今年10月より開催予定の「さいたま国際芸術祭2023」市民プロジェクトでは空間デザイン、アーカイブ映像を担当する。



■上：「群馬青年ビエンナーレ2019」群馬県立近代美術館の本展にて、これまで当美術館で開催された展覧会の全図録を借用し表紙を展開して並べた作品。(Yu Ohara との共同制作)  
■下：「さいたま国際芸術祭2020」芸術祭の旧大宮図書館会場にて、計画したSACP(さいたまアートセンタープロジェクト) ROOMに関わる様々な参加者が持ち寄った本を閲覧できるライブラリー空間を制作。

### ☆木工ワークショップ「本を並べる箱を組み立てよう！」

1回目:15時～、2回目:16時～

(予約不要、無料、所要時間約20分、各回3組)

## 幡ヶ谷

### 中山 琳太郎 (なかやま りんたろう)

2000年東京都生まれ。日本大学芸術学部美術学科彫刻コース卒業。粘土やスタイロフォームなど可塑性のある素材を用いて立体作品を制作する。自身で生活の中で発見した感覚や景色を、幼少期の曖昧だった感覚や景色とリンクさせ、作品を通して再構築する。

【受賞歴】公益財団法人 北野生涯教育復興会彫刻奨学生



「nomadic list」2022年  
素材：発泡スチロール、石粉粘土、アクリル絵の具 140×90×130cm

### 澁木 智宏 (しぶき ともひろ)

北海道小樽市出身。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。日常の暮らしの中で個々に記号として認識されている物事を、連続性・集合性・一体性の観点から捉えなおすことに関心を持ち、制作活動を行う。近年の主な展覧会に、「MMMみなとメディアミュージアム2020→2021」、「UNMANNED 無人駅の芸術祭」など国内外で発表を行う。



「隣の景色」2021年  
Film on Windows ひたちなか海浜鉄道車内

### 天草 ミオ (あまくさ みお)

埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻修了。透明なフィルム紙の裏側から描く、レイヤーが逆転したペインティングのほか、ドローイング、陶を制作する。“視線”や“見られるもの”、“内と外のあいだ”をキーワードに、記憶や物語、歴史を重ねあわせた作品を作る。9月末よりCenter line art festival Tokyo 2023の「Space Sharing Program」に参加。



「Party Night」2022年  
素材：和紙、アクリル絵具、土、その他



渋谷区  
コミュニティコイン  
「ハチポ」  
がもらえる！



### 笹塚

渋谷区笹塚2丁目42番  
都営笹塚2丁目アパート 42-15号棟1階  
京王線「笹塚駅」徒歩約6分

### 幡ヶ谷

渋谷区幡ヶ谷2丁目52番  
都営幡ヶ谷2丁目第2アパート 52-1号棟1階  
京王新線「幡ヶ谷駅」徒歩約7分

※両スペースとも駐車場・駐輪場はありません。